

### 令和四年度活動予定

- 総会
- ・令和三年度活動報告
- ・令和三年度決算報告
- ・令和四年度組織
- ・令和四年度事業計画案
- ・令和四年度予算案

#### ○都小行と全小行の連携研修

二月に全国研究大会を実施したため、次の大会まで一年半の時間が空いてしまいます。そこで、令和四年度は、左記のように、東京都小学校学校行事研究会が実施している夏季一日研修会と連携をすることにいたしました。

記

- ・日程 令和四年八月四日(木)
- ・時間 午前九時半～午後四時 (昼休憩 正午～午後一時)
- ・会場 武蔵野市立第五小学校
- ・内容
- ①講演Ⅰ
- 「世界から見た学校行事の可能性」
- 元本会会長 エジプト日本学校スパーバイザー 鈴木純一郎先生

- ②実践発表Ⅰ(東京都)
- ③実践発表Ⅱ(東京都以外)
- ④演習

「学校行事の計画を立てよう」 ※子供たちが主体的に活躍できるようにするための仕掛けづくり

- ⑤講演Ⅱ
- 「学校行事のすすめ」

令和二・三年度本会会長 八王子市立浅川小学校 校長 清水弘美先生

・会費 無料  
申し込み方法や受付等、詳しいことは、順次、ホームページ等に掲載いたしますのでご確認ください。

### 持続可能な全国小学校学校行事研究会にしていくために

〈事務局からのおお願い〉

本会は全国の都道府県を学校行事でつなぐ唯一の組織で、五十七年の歴史をもっています。学校行事が特別活動の中に組み込まれたものの、本来は特別活動とは根っこを分けるもので、指導方法も異なります。学級活動を中心として取り組まれることが多くなりましたが、学校行事は保護者・地域と学校をつ

なぐという視点もあり、学校の伝統を引き受けるものでもありません。また、防災や地域の伝統文化、町おこしなども深く関係させることができます。特別活動の研究とは別に学校行事の研究を進めていくことには大きな価値があります。

さて、最近、「持続可能な社会」という言葉を聞く機会が増えました。地球が抱える様々な問題と向き合い、「将来の世代の欲求を満たしつつ、現代の世代の欲求も満足させるような開発が行われた社会」のことです。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校行事の中止、延期、縮小・・・。本会においても、昨年度は全国大会が中止となり、今年度は書面とオンラインでの開催となりました。次の全国大会は令和五年度の実施となります。やむを得ないことですが、今までのように運営できない状況となり、全国を結ぶ組織として危機感をもっています。今こそ、五十七年間、築いてきた歴史と伝統を基に、学校行事が抱える様々な問題と向き合い、「持続可能な全国小学校学校行事研究会」となるように、一致団結して盛り上げていくことが必要です。

事務局では、これまで校務や感染症対策等で多忙な中、本会の資料、事務連絡等を全国の皆様に郵

事務局長 大田区立北糀谷小学校長 細井 鏡子

全国小学校学校行事研究会  
ホームページアドレス  
<https://zensyo-gyou.com/>  
「理事報告書」のフォーマットもこちらに入れてあります  
〈問い合わせ〉事務局  
144-0032 大田区北糀谷 2-2-5  
大田区立北糀谷小学校  
電話：03-3742-5371  
メール kitakoujiya-es-cms@ota-school.ed.jp



題字・田南勝次氏筆

発行所 全国小学校学校行事研究会  
会長 清水弘美  
事務局 東京都大田区立内  
立内小学校  
〒144-0032  
東京都大田区北糀谷 2-2-5  
TEL 03-3742-5371  
FAX 03-3742-5372

### 新しい時代の学校行事を創造する楽しさを分かち合おう

#### 学校行事の価値

全国小学校学校行事研究会 会長  
東京都八王子市立浅川小学校 校長



清水 弘美  
五十七年の歴史をもつ、全国小学校学校行事研究会 研究大会

が無事に実施されました。ここ数年、学校行事の課題に、「形骸化」という言葉が使われていました。

危機感を感じていたものの、日々の多忙さに紛れて、一つ一つの学校行事に向き合っていて、ねらいや方法の変更に組み組めなかつたというのが学校の実態でしょう。そのため、学校行事をこなすことに重点が置かれ、どんな資質・能力を子供たちに育てるのかということが置き去りになりつつありました。

コロナ禍の中で、「学校行事はできないからやらな」と捉えるか、「今までの方法ではできないから、新しい方法を考えて実

施しよう」と捉えるかで、その学校の教育の質も教員の成長も大きく異なってきました。

しかし、嬉しいことに、日本中で実施の形式ではなく、育てる資質・能力に視点を当てて、活動を工夫した学校がたくさんありました。全く違う条件で学校行事を創るには、必ず何のために行うかという確認が必要で、前向きな教員の姿勢そのものが学校行事の質を上げるので

す。今回の、全国研究大会は2つの実践以外は紙面発表になりましたが、だからこそじっくり読んだ、もっと知りたいと思うものがたくさんありました。

そして発表するからこそ、課題も見えてくるのです。課題が見えればそれは成長の兆しです。

オンラインで発表した先生方は、発表したことで、新しい気付きを得て、質問されたことに、もっとこう答えればよかったとわざわざ言いに来てくれた方もいました。

学校行事を見直し、新しい次の形に作り替えることは、本来楽しいことです。本大会が、

### 第五十六回小学校学校行事研究全国大会

#### 神奈川・横浜大会を終えて

大会実行委員長  
横浜市立鴨志田緑小学校校長

高橋 美都子



前週の天気予報では雪予報だったため、大会役員も参加できるか危ぶまれていたところでしたが、当日は晴天となり、「第五十六回小学校学校行事研究全国大会 神奈川・横浜大会」を無事に開催することができました。

第五十五回大会は社会状況を鑑み中止とし、二年越しでの大会開催に向けて、横浜の役員一同取り組んでまいりました。第五十四回名古屋大会で横浜開催をお伝えした時に、誌上開催（一部オンライン開催）という形になるとは想像もできませんでした。皆様の協力と無事に終えられたこと感謝しております。

今大会では「主体的に学びを進め、自己実現や社会参画につながる学校行事の創造」を主題に、副主題を「自己有用感を高める

体験活動とその学びの過程」とし、これらのもと、学校行事の新たな出発点としての視点が確立できたと考えています。

文部科学省調査官 安部恭子先生には、コロナ禍だからこそ学校行事を見直し、めあてや意義を確かめ、付きたい資質・能力を検討し、それらを教職員が共有し、同じ方向へ向いての指導や支援の大切さを教授いただきました。

実践提案も二本行い、日野市立日野第四小学校からは「コロナ禍におけるカリキュラムマネジメント」というテーマで、資質・能力の育成を大切にした組織的な取組について、横浜市立あざみ野第一小学校からは「教科・領域との関連を図った学校行事の在り方」というテーマで、主体性を育み、他教科への広がりのある学校行事についての提案をいただきました。

次回大会紹介では、熊本より松永裕子先生が令和五年八月三・四日に開催予定の九州・熊本大会について、ご案内くださり、直接皆さんとお会いして、研究協議が行われることを期待しつつ、閉会することができました。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたってご支援やご協力をくださった皆様に、改めて心より感謝をお伝えしたいと思います。

実践発表概要(オンライン)

【開会の言葉】

横浜市立あざみ野第一小学校 校長 山本佐知子

新型コロナウイルス感染症拡大により、初めての書面開催、オンライン開催となりました。皆様は、子供たちのために、何ができるか考えていることと思います。文部科学省、全国の先生方のご協力により、今回開催できることを嬉しく思います。

【会長の挨拶】

全国小学校学校行事研究会 会長 東京都八王子市立浅川小学校 校長 清水弘美



第五十六回の全国大会が開催できることに感謝申し上げます。この二年間は、学校の在り方を考えさせられました。今こそ、全国の学校で学校行事の重要性を認識し、今の学校にあったオリジナルの学校行事を創り上げていく必要があります。学校行事は、教科では学べないことを学ぶ大切な場です。教育は、不易と流行と言われますが、七十年以上前から大切にされてきた学校行事は、

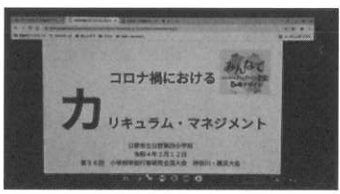
不易のものと言えるでしょう。学校行事を次の時代に繋げ、新しい時代に進化させていかねばなりません。今回は、参集できまじいでしたが、全国の先生方が繋がれたことをとても嬉しく思います。文部科学省、神奈川県学校行事研究会、多くの教育研究団体の皆様に感謝申し上げます。

【実践発表】

○第一分科会

「コロナ禍におけるカリキュラムマネジメント」学校行事のよさを大切にして、新しい価値を見いだす」

東京都 日野市立日野第四小学校 尾沼直也・中村未央



(1) 儀式的行事 コロナ禍で制限の多い中、「自分たちが新一年生を迎えたい」という子供たちの願いと「最高学年としての自覚を高めたい」という教師の願いから、入学式には校門から受付、式場までのルートに新一年生が並んで歓迎の気持ちを表した。その姿を見た五年生が卒業式の門出送りで「六年生ありがとう」とプロジェクト

ト」としてサプライズを行った。(2) 健康安全・体育的行事 幼稚園保育園との合同引き渡し訓練を実施した。(3) 遠足・集団宿泊的行事 学校に一泊する「わくわくキャンプ」を計画し、オリパラ特別授業やものづくりワークショップ、保護者手作りの食事などを行った。(4) 勤労生産・奉仕的行事 ワクワキャンの中の子供たちが「学校のために何かやりたい」と早朝校内美化活動を行おうと動いた。

(5) 文化的行事

学芸会や学習発表会とし、教室での個人発表や体育館での合同発表などの工夫を行った。

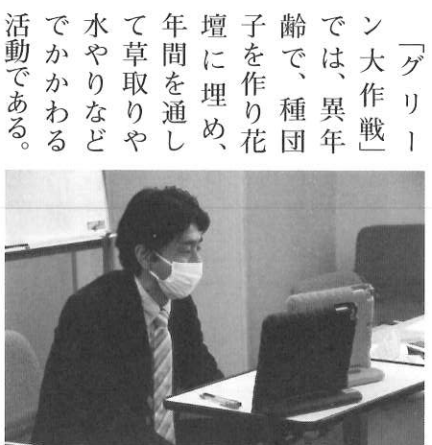
※学校行事のねらいを絞り、スリム化して取り組むことで新しい価値を発見することにつながった。

○第六分科会

「教科・領域との関連を図った学校行事の在り方」クリーン大作戦の取組を通して」

横浜市 横浜市立あざみ野第一小学校 富田剛史

栽培活動「グリーン大作戦」(異年齢交流活動)は勤労生産・奉仕的行事として取り組んでいる。それを「花いっぱいプロジェクト」の一環として、他の教科と関連を図り、環境教育分野としている。



「グリーン大作戦」では、異年齢で、種団子を作り花壇に埋め、年間を通して草取りや水やりなどがかかわる活動である。

「なかよく咲くスマイル」は一人一鉢のスマイルを栽培する総合的な学習の時間に全校で取り組んでいる。「ワイワイランド」という畑活動では、学年ごとに栽培活動に取り組み生活科や理科、五年生の稲作などの総合的な学習にもつながっている。

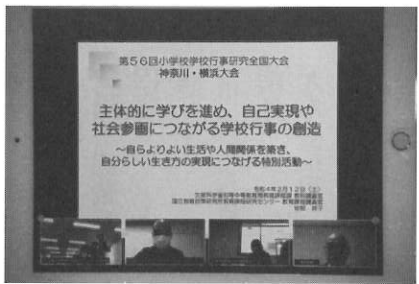
※学校行事はカリキュラムマネジメントの実践の場として効果的である。

【講演】

文部科学省初等中等教育局教科調査官 安部恭子先生

中止や誌面発表だけにしている発表会も多い中、価値ある大会を準備していただきました。役員の皆様は、とても大変だったと思います。

学校行事での自己有用感、達成感や所属感、連帯感など、人との関わりによって学んでいきます。コロナ禍によって、学校行事を削減した学校が多かったと思います。しかし、コロナ禍だからこそ、学校行事の充実が必要だと感じます。



自己有用感を高めるために、身に付けさせたい資質・能力を明確にすることが大事です。学校行事は、例年通りでやっていても意義のあるものになりません。楽しく豊かな学校行事によって、未来を育む実践力を育み、主体的に考えて、実践することが大切です。

コロナによって、先生方、学校が苦勞されました。そのような中、臨時休業明けに大切にされたことは、学級づくりや児童同士の関わり合いです。日本型の学校教育は生活全てを指導しています。全人格的な発達を促している学級活動(1)の充実も大切です。それがクラブ活動、委員会活動等につながり往還的な関係になります。コロナ禍で行われた学校行事をいくつか紹介します。六年生が修学旅行から帰ってきた時の「おかせりなさいボード」では、下の学年の子たちの思いが黒板に書かれています。それが、他の学年にもつながっていききました。

中学校でも、市全体で中止になつてしまった運動会を合同体育大会として実施し、自己有用感を高めていくことにつながりました。体験を通

しての充実が欠かせません。

コロナ禍の小中学校における集団宿泊的行事の調査では、臨時休業明けの子供たちは、体力のない、眠そなうな子が多い。学習意欲の低下、不安、イライラしている等の結果が出ました。集団宿泊行事後に、メンタル面の課題改善が見られました。感染症対策をして、工夫すればできることを学びました。豊かな心、人間性を育むには、体験的活動がとて大切で、自然体験は、年々下がっています。自然体験をしている子供ほど、自律性や協調性が高いです。自己肯定感、年々上がっていますが、小学四年生から学年が上がると下がっています。自然体験が豊かな子供ほど、自己肯定感も高いです。道徳観や正義感も同様です。

学校行事の学びによって、他者と協働して、人間関係を自ら築き、なりたい自分に前向きになります。学校行事の実践を通して、学校のために、友達のために頑張っています。学校行事は、よりよい学校生活を築くことができます。学校行事の意義については、言い聞かせだけでは知識にならなりません。目標を設定し、課題を見だし、何のためにやるのかを考える必要があります。一連の活動を通して学習課程が大事です。イベントやただのお楽しみにすることなく、どんな資質・能力を身に付けさせるのかを考える必要があります。学びをつなげ、体験的活動を他

者と協働して行うものにしなければなりません。

学校行事は、大きな集団であることが特徴です。学校で計画し、実施しますが、子供が積極的、主体的に参加できるようにします。各教科では、容易に得られない体験活動です。しかし、大事だと言ったことを伝えるだけでは、エビデンスが足りません。子供たちの姿や保護者からのコメントなどを保管し、伝えられるようにすることで、地域行事ともつながり、統合的に発揮、発展させる体験活動にできます。主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、学習過程を大事にします。

また、道徳的実践の重要な学習活動である特別活動として、振り返りをして振り返ります。自己の生活や生き方を振り返ります。その際、キャリア・パスポートの活用が大切です。

学校行事で取り組んでいたマラソン大会を体育の授業として行うことがあります。その際、体育で育てたい力は何か。健康安全・体育的行事で育てたい力は何かを考えることが大切です。安易な時間削減にならないようにしましょう。今できるように内容を精選したことが大事であつて、負担感から時間削減することではいけません。子供たちや学校の実態から、身に付けさせる資質・能力を明確にし、学校全体が共有します。振り返りは、振り返る時の視点を明確にし、もっと頑張りたいという



気持ちに繋げることが大切です。きちんと手立てを講じて指導します。

各学校の年間指導計画を作成する上では、学校の創意工夫を生かし、学級や学校の実態を考慮します。児童による自主的・実践的な活動になるようにします。全教員で作成することも大切です。

年間を通して、計画的に実施することによって、児童の学校生活リズムを与え、節目を付け、より生き生きとした生活を実現します。他者と力を合わせて学校行事に取り組むこと。学校行事に他の教育活動における学習や経験などを総合的に取り入れ、その発展を図り、効果的に展開されるようにする必要があります。

今こそ、特別活動を創意工夫して実践する必要があります。役割を果たす機会を作り自己有用感を向上させましょう。将来に向けて自分らしい生き方の実現、学校の行事の充実によって、特色のある学校づくり、学校文化を作っていくきましょう。